

■会津エンジンの方向性

私たちは経済を発展させることで、豊かさを手に入れようとしてきました。しかし多くの人が真の豊かさは経済のみでは達成されないことに気づき始めています。そして皮肉なことに、その足りないものが経済発展の過程で見失ってきた文化や個性であることが分かってきました。経済構造がハードからソフトに急速に移行している今こそ、こうした文化を基盤とした産業・ビジネスを見据え、会津らしい文化戦略を確立していくことが求められています。

- 私たちは、日本に豊かな知的資源を、もっとふやしたいと思います。
- 私たちは、心ふるわせる感動に満ちた生活を、送りたいと思います。
- 私たちは、そのための仕組みや環境を、明確な文化戦略として築きたいと思います。



～エンジン01の行動指針より～

■今後の課題

内外から、年々注目と期待を寄せられる、会津エンジンではありますが、その反面、3年限りの県のサポート事業も終了し、安定的な資金の確保、規模拡大に伴う、新たな課題も多く抱えるようになりました。今後はアンケートの結果等のリアクションを吟味し、企画の段階からたくさんの市民にも参加してもらう等、さらに層の厚いイベントに成長させていくことが重要です。

また、イベントを通して、参加者同士の交流や、来若される著名人に、会津の良さを売り込み、今後の誘客の契機にしていくことも可能です。そのためには各種「講座」はもちろん「夜楽」においてもテーマや人選を充実させ、さらにはPRにも力を注いでいきたいと考えています。

【課題事項】

- 開催時期の再考
- 資金の確保
- イベント規模と当青年部のポテンシャルのギャップ
- 地域住民の知的欲求の的確な把握による講座の企画
- 青年層(特に二十歳前後の世代)へのアプローチ不足
- 安定的な開催財源の確保
- マンネリ化の回避
- 著名人の参加のあり方、もてなし方
- 市民講師の人材バンク登録制度の確立
- その他

